



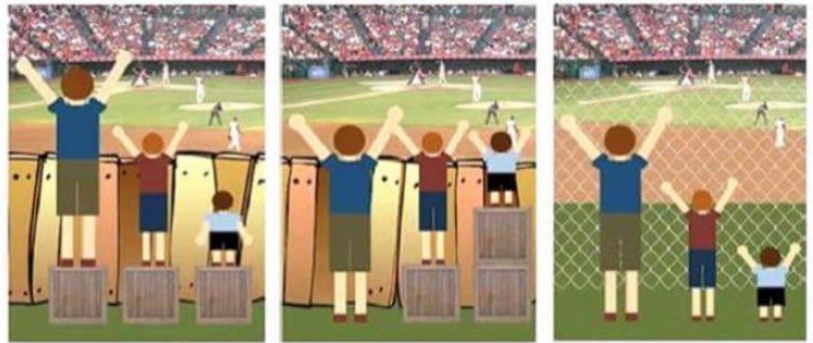
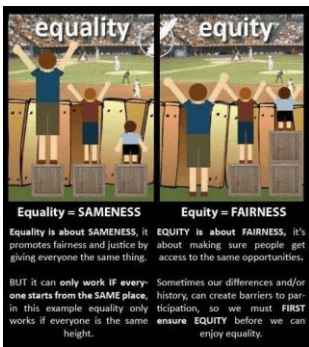
キッズサポート にじいろ

令和3年9月号



たまには真面目なお話part3

前回の続きで「平等と公正」について下記の図を見た事がある方もいらっしゃるかと思いますが、野球を観戦するという場面を使って平等と公正の違いを表しています。Equalityが平等、Equityが公正となっています。



左図の説明文には

平等 Equality = Sameness

「平等は公正さを推進させるために全員に対して同じものを与える。しかしそれが正常に機能するのは全員のスタート地点が同じ場合に限られる。この場合では全員の身長が同じ時だ」

公正 Equity = Fairness

「公正さは人々を同じ機会へのアクセシビリティ(利用しやすさ)を確保する事。個人それぞれの差異や来歴は、何らかの機会への参加に対し障壁となることがある。まずは最初に公正さが担保されて初めて平等を得る事が出来る」

と記載をされています。私は、平等は「スタートラインを一緒にする事」公正は「その方の状態に合わせてスタートラインを調整する事」と考えています。更に、右の図は木の塀から金網に変える事で「環境」を整える事を表しています。

私が、保育園で年長の担任をしていた時にクラスに歩行器を使っている子がいました。年長児は運動会の時に走り縄跳びと年長全員が参加をするリレーをするのですが、その子が、運動会に参加をする時にどうやったらその子が参加をしやすいのかを子どもたちと話し合いをしました。私はあまり意見を言わずに見守っていたのですが「走り縄跳びは両サイドに子どもが立って縄跳びを回しながら一緒に走る」「リレーは1/3の距離にして2/3は早い子が走ってカバーをする」という形に決まりました。

平等という視点で考えれば「みんなと同じ様に自分で縄跳びを回して、スタートラインもみんなと一緒に」という事になります。

公正という考え方を持つ事は、何か困難さを抱えている人も平等に社会参加が出来る事に繋がっていきます。

嵯峨 憲司

キッズサポートにじいろ狭山 TEL: 04-2935-4294
キッズサポートにじいろ入間 TEL: 04-2968-6972

Instagramでも活動の様子が見られます!

#メルフィスの小窓
#キッズサポートにじいろ で検索!



(Instagram) (ホームページ)

キッズサポートにじいろ 活動報告

にじいろ狭山活動紹介



夏祭り週間にはアトラクションとしてストラックアウト、やかんカーリングを行いました。そこでもらったチケットでにじいろ内のお店屋さんへ行き、お面とお菓子を交換しました。恒例の職員の出し物は、たくさん子ども達が参加してにじいろならではの素敵な「はらぺこあおむし」を上演することが出来ました。

にじいろ入間活動紹介

夏休みの制作週間に、皆でダンボールハウスを作りました！レンガの柄はカラーガムテープで表現しています。巻きダンボールを丸めて、煙突も作りました。中にはキッチンもあります！ボロボロになるまで遊んだ後は、穴をあけてストラックアウトに早変わり。最後まで楽しんで遊びました。



教材紹介



～棒つみき～

スタディサポートMJ所沢から、にじいろ入間の子ども達に素敵なプレゼントが届きました。パイン材という木を、薄いブロック状にカットした「棒つみき」です。螺旋階段の様に積み重ねたり、巨大なタワーを作ったり、使い方は想像力次第です！！

電動工具を使った裁断から、ささくれで怪我をしない為のやすり掛け、手触りや色合いを良くする為のオイル塗りに至るまで、職員と協力しながら、MJ所沢の子どもたちが手掛けてくれたとの事。

今は新型コロナウイルスの影響で、直接の交流は出来ていませんが、棒つみきの人気ぶりを、ぜひ見て欲しいです。中にはドミノ倒しをして遊ぶ子どもや、綺麗に並べて、ミニカーを走らせて遊ぶ子どももいます。

いつかたくさんの棒つみきを使って、にじいろ入間の天井に届くくらい、高いタワーを作るのが夢です。夢が叶った時には、またこちらでお知らせします♪

